

ぶくおか経済

vol.335

配達の自動追跡ソフトを販売

タウンズポスト

郵便代行業の㈱タウンズポスト（福岡市中央区警固2丁目、飯田剛也社長）は5月1日から配達状況を自動追跡するソフトの提供を始めた。

システム開発の㈱ASK（同区天神4丁目、内田剛玄社長）と共同開発し、タウンズポストが販売を担う。名称は「追跡くん」で主に運送や物流事業者、3PL（物流受託サービス）向け。荷物の配達状況が瞬時に確認できるシステムで、ソフトをダウンロードし顧客情報を一度入力すれば、ネットワーク環境を通して配達状況などの問い合わせ結果が取得できる。結果はエクセル出力でき、データ活用や報告書としても提出可能になる。対応運送会社はヤマト運輸、日本郵便、佐川急便、福山通運、西濃運輸の5社で一つのソフトで複数社に対応しており、配達日や配達先などの情報を一覧で表示。各会社のホームページから1件1件の問い合わせが不要になり、追跡作業の要員削減や業務効率化が図れるという。初期費用は無料で月2万5000円、1カ月無料で利用できる。

同社では「これまでクロネコDM便限定で配達状況の自動追跡サービスを提供していたが、顧客から通販などの商品にも対応してほしいと要望があり開発に着手した。荷物が届いていな

いなどの状況を未然に発見することでクーリングオフ対策やトラブル防止にもつながる」と話している。